



かなりや

No. 46 R5. 11. 16

とんかち とんたん 木工遊び！ ～なにつくろうかな～

6月から木工遊びも楽しんできた子どもたち。初めはドキドキで挑戦した子もいましたが、今では「またやりたい！」の声も聞こえてきて、継続して取り組んでできました。下記のねらいのもと、木工遊びを行ってきましたよ。

- ◎様々な木材を使い、自分なりにイメージを広げ、つくる楽しさを味わう。
- ◎道具の扱い方を知り、安全に使う。

形や大きさなど様々な種類の木材の中から自分で「お気に入り」、「使いたい！」と思ったものを選ぶところからスタート！初めは「釘を打つの楽しい！」と木材に釘を思い思いに打つところから始まった木工遊び。「曲がっちゃった」「硬くて釘が入らない～」と言っていた子どもたちでしたが、1本、2本、3本…と繰り返し釘を打っていく中で次第に感覚をつかんでいきましたよ。



どんどん釘が打てるようになり「飛行機づくりたい」、「お家づくりたい」などづくりたいもの、思いが聞こえてくるようになりました。はじめは平面に木材を置き、安定した面に釘を打つということが多かった木工遊び。だんだん慣れてきて自分のイメージしたもの、立体のものをつくってみようとする中で、釘を打つときに少し不安定で支えが必要な場面やどのように打ったら自分のイメージのようにつくれるのかなど戸惑う姿もありました。それでも諦めずに「手伝って～！」、「釘を打ったのに木がくっつかない…なんでだろう」と周りに声を掛けたり、考えたりしながら挑戦してみる姿が多くありました。そして「ちょっと持っていて」の助けを求める声が聞こえてくると、「いいよ！」と困っている友達の姿に気付いて支えて持つなど協力し合う姿もあり、とても嬉しく思いました。



木工遊びでは木材のみならず、コルクや王冠などの素材もあったり、釘も長いものや短いものコの字型のものなど様々な種類を用意していきました。材料コーナーにある様々な素材を、見て「使ってみようかな…」と使っていく中で「この木は硬いな…」「コルクは釘打ちやすい！」などと子ども達が気付く姿もありました。釘も用途に応じて種類を使い分けたり、釘の頭の部分まで打つものもあれば、あえて全部は打たずに残しておいてピタゴラ装置の障害物となるようにしてみたりと、細かいところまでこだわり子どもたちがつくってきましたよ。



楽しい木工遊びではありますが、安全に楽しむために気を付けることもたくさんあります。時にトンカチが釘を押えていた手に当たってしまう…そんな場面もありながらも「まだ続きする！」と諦めずにまた釘を打ち始める子ども達でした。ちょっぴり痛い思いをしながらも楽しく活動しているからこそその姿、とても嬉しかったです。

そして木工後はみんなで机の下などに釘が落ちていないか釘探しも行っていました。子どもたち自身も安全確認を行いながら一緒に準備や片付けも取り組んでできましたよ。



造形展では今まで子ども達がつくってきたもののなかから1つを展示します。1つのものをじっくり何日もかけてつくってみたり、いくつかつくったものを組み合わせてみたり、イメージを膨らませながらつくってきました。こだわりの詰まった作品です。ゆっくりご覧ください～😊

